

# Cooperation カリキュラムの連携で 生涯にわたる学びを支援

中学校区を核に連携を強化  
小学校から中学校への円滑な進学を支援



市教育委員会 教育長 石田剛

### 小中連携をさらに推進

「これまで長年、教員や教頭、校長として、学校現場に携わってきました。また教育委員会事務局も経験しました。その中で、どうすれば子どもたちの学びをもっと支援することができるのかと考えたとき、小学校と中学校の連携をさらに進める必要があると思ったんです」

そう話すのは石田剛教育長。市内の小・中学校で校長などを務め、4月に教育長に就任しました。

「中学校で生徒指導を担当していたとき、学校が少し落ち着かない時期があったんです。その時に、小学校ともっと情報を共有する必要があると思い、小学校に出向きました。当時は、あまり連携などの意識がない時代でしたが、予想以上に前向きな話ができ、予想以上に小学校の先生も、自分が教えた子どもたちが気になってくれたもの、なかなか見に行く機会がなかったようです。そのことが、小中連携を意識するきっかけになったんだと思います」



連続した一つのもの。9年間の義務教育を通して、子どもたちの学びを考える必要があると石田教育長は話します。

「もちろん、小学校と中学校では、発達段階に応じた学習内容や接し方が必要になりますから、違いはありますし、あっていいと思います。大切なのは教員同士がその違いを知って、相互に理解を深めることなんです」

### 小学校までの学びの基礎が 中学校以降につながる

現在、児童生徒の交流や教職員の交流は、就学前教育を含めて、各中学校区を核に進められていると石田教育長。今後は交流をさらに深めなが

ら、幼児教育から始まるカリキュラムの連携を進め、生涯にわたる学びを支える必要があると話します。

「小学校までに学びへの興味や意欲、基礎をしっかりと作っておくことで、中学校以降の伸びにつながるんです。そのためにも、カリキュラムの連携は進める必要があると思っています。時間をどう確保していくのかという課題はありますが、夏休みの研修などを工夫して、研究の場を作ることができればと思います。将来的には、社会教育との連携を踏まえた、コミュニティスクールの研究も進めていければと考えています」



## ニョッキのたらこソース

好きなサイズで簡単手作り

人権啓発シリーズ  
生きる 人権推進課 ☎(740)1150

### 身体は共同的にできている

人は赤ちゃんの段階から  
他者の置かれた状況に身を重ねる

これまで、人は身体で生きている以上、その身体の位置から自己中心的に生きる以外にないという話をしてきました。今回お話しするのは、人は身体で生きている以上、他者と共同的に生きる以外にないという話です。矛盾しているじゃないかと思われるかもしれませんが、そうではありません。

人はみな一人一人、別々の身体を与えられて、生まれるのも一人、死ぬのも一人という個性を強いられると同時に、その身体をもって周囲の人たちと身体を突き合わせて生きる以外にありません。実際、自分の身体は、透明人間でもないかぎり、周囲の人に見えています。そして、その身体はただの物体ではなくて、常に何らかの表情を持っていて、それが周囲の人たちに見えてしまいますし、逆に周囲の人の身体が自分の側でも読み取れてしまいます。

生後6カ月くらいの赤ちゃんに、レモンの輪切りをなめさせるという実験があります。赤ちゃんは当然、本当に「スッパイ」という顔になります。それでしばらくして、今度はその赤ちゃんの前で自分の方がレモンの輪切りをなめて見せます。そうすると赤ちゃんは先ほどと同じ「スッパイ」という顔をするのです。もちろん赤ちゃん自身は酸っぱいわけではないのに、こちらの側の酸っぱいという体験を自分のことのように受けとめてしまう。人は赤ちゃんの段階からすでに、他者の置かれた状況に身を重ねてしまうという性質を持っています。いったん見れば、人は赤ちゃんの時から共同的にできている。人はその身体性の故に、もともと自己中心的で、同時にもともと共同的にできているのです。

(前川西市子どもの人権オンブズパーソン 浜田寿美男)

おとな子どもも  
食と育つ 保健センター ☎(758)4721

レシピ 川西いずみ会

- 材料 4人分  
ジャガイモ …………… 中3個(約300g)  
薄力粉 …………… 80g  
塩 …………… 少々  
ブロッコリー …………… 1/2株(約100g)  
【ソース】薄皮を除いたたらこ中1腹(約60g)、マヨネーズ(大さじ1と1/2)、牛乳(大さじ2)

熱量(おとな1人分): 202kcal、塩分: 0.9g

- 作り方  
①ジャガイモをゆで、皮をむきつぶす。塩と薄力粉を入れて混ぜ、ぼそぼそになったら、手でまとめてよくこねる。  
②ブロッコリーは食べやすい大きさに切り分ける。  
③まな板に打ち粉(薄力粉、分量外)をし、①を棒状に伸ばし約1cm幅に切る。形を整えフォークの背で溝を付ける。  
④ソースの材料を混ぜ合わせる。  
⑤沸騰したたっぷりの湯で③を2、3分ゆで、浮いてきたらブロッコリーを入れる。さらに2分ほどゆで、ざるにあげる(ニョッキはゆでると大きくなります)。④と混ぜ、器に盛る。

消費生活センターだより 消費生活センター ☎(740)1167

### 「ウイルスに感染！」という偽警告

セキュリティソフトを購入させる手口  
慌てて連絡しないように

事例 インターネットを使っている時に、突然「問題が発生しています。このままではウイルスに感染する危険性があります。修正する場合は今すぐこちらへ連絡を」という警告表示が出た。驚いて記事のあった連絡先に電話をかけた。「セキュリティソフトをダウンロードすれば大丈夫。今なら半額の9,800円です」と言われたのでクレジットカード番号を伝えた。「パソコンを遠隔操作します」と言われ、パソコンの画面がどんどん変わっていった。業者に「ひどい状態になっている。もっとセキュリティの高い5万円のソフトが必要」と言われ、「9,800円のソフトで大丈夫というのはうそだったのか、だまされた」と思い電話を切った。購入したソフトも信用できないし、クレジットカード番号が知られてしまったことも不安。どうしたらいいか。(60歳代 男性)

上記の場合①30日間の返金制度があったので業者に取り消しの申し出をする②セキュリティソフトをアンインストール(削除)する③念のためクレジットカード番号を変更する④遠隔操作をされているので今後パソコンに不具合が起こらないかを注意する一などを相談者に伝えました。

パソコンの画面に突然現れる警告表示は偽のメッセージ広告である場合が多く、消費者を不安にさせてセキュリティソフトを購入させる手口です。警告表示が出て内容のうみにせず、慌てずに落ち着くことが大事です。困ったときは消費生活センターに相談してください。警告表示を消す方法は独立行政法人情報処理推進機構(IPA)のホームページ(URL=https://www.ipa.go.jp/)が参考になります。